

- 1 会議名 新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会
- 2 日 時 令和3年5月25日（火）
開会 午前9時58分
閉会 午前10時46分
- 3 場 所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 （委員長）井上真砂美、（副委員長）須藤智子
（委 員）谷平敬子、水野忠三、大野慎治、堀巖、梶谷規子
- 5 欠席委員 なし
- 6 説明員 なし
- 7 事務局 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 8 委員長あいさつ
- 9 議題
（1）コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望について
（2）その他

新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会（令和３年５月25日）

◎委員長（井上真砂美君） おはようございます。

新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会、令和３年になりまして初めてですが、開かせていただきます。

今日は、本当に委員メンバーと議長・副議長、事務局に来ていただいた仲間うちでやっていきますので、有効に時間をつかっていきたいと思います。

感染症は５月24日現在で257例で、ワクチン接種は75歳から77歳が接種予約を開始しております。なかなか順番にいろいろ進んでおりますが、まだ見落としている件とかいろいろあります。

初めに、この会を開くに当たっては榊谷委員から申出がありましたが、ちょうど全員協議会の中でコロナウイルスに関して説明していただきましたので、そこでたくさんの方に質問していただいて、行政側からもたくさんお答えいただきまして、どうしようかと思っておりましたが、公明党の谷平委員のほうからいろいろ皆さんにお諮りいただきたいということがあるということをお聞きしましたので、開議前ですが開かせていただきます。よろしくお願いいたします。

では、初めに協議事項(1)ですが、早速、コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望についてということで説明していただきたいと思います。

資料は皆さんお持ちでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（井上真砂美君） では谷平委員、よろしくお願いいたします。

◎委員（谷平敬子君） おはようございます。

今日も一般質問等忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。

今日は、ちょっと資料のところを読ませていただきます。

コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望（案）とは書いていませんけど、これは案ですのでよろしくお願いいたします。

今、世界各国で女性の月経に関する「生理の貧困」が問題となっています。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また利用できない、利用しにくい環境にあることを示し、発展途上国のみならず格差が広がっている先進国においても問題になっています。この生理の貧困解消のために、例えばイギリスでは全国の小・中・高校で生理用品が無償で提供されているとの報道がされています。また、フランス、ニュージーランド、韓国などでも同様の動きがあります。

この問題は日本でも無関係ではなく、先日、任意団体である「#みんなの生理」が行ったオンラインアンケート調査によると、5人に1人の若者が「金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した」「ほかのもので代用している」等の結果が出ています。また、貧困で購入できないだけでなく、ネグレクトによる親から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もあります。

岩倉市においても誰一人取り残さない社会を実現するために、一日も早くこのような女性の負担軽減に取り組んでいくよう、以下要望いたします。

1つに、「生理の貧困」解消のための生理用品を市役所や保健センター等で必要な方へ配布してください。2. 配布に関してはプライバシーに配慮するなど、利用しやすいように御検討ください。3に、市内小・中学校の個室トイレや保健室で生理用品を配布することを検討してください。

以上、3つについて提案をさせていただきます。ぜひ御賛同をいただきたいことと、また御意見をお願いいたします。

また、近隣市町なんですけれども、2枚目のほうに一宮市が入っていますけれども、防災備蓄用の生理用品を1人1パック配布しているということです。

あと、4枚目のところなんですけれども、4枚目のところに兵庫県明石市のことも無料で生理用品の配布をしているとか書いているんですけれども、また真ん中辺なんですけど、政府がこの困窮する女性を支援するために地域女性活躍推進交付金というのを拡充することを決めたということです。

あと大口町ではもうやっているんですけれども、社会福祉協議会の中のフードバンクの中に、食料品は今配布しているので、そこに生理用のナプキンを入れて、来られた方の家族の人数分のものを進呈するというところでやっているということです。よろしくお願いします。

◎委員長（井上真砂美君）　ありがとうございました。

まず、具体的なことはともかく、最初のほうの趣旨について、趣旨関係について御質問等。

◎委員（大野慎治君）　多くの市町は災害用備蓄用品の生理用品から配布ということになっているんですけれど、岩倉市で災害用備蓄で生理用品がどれくらいあるのかというのは御存じでしょうか。

◎委員（谷平敬子君）　これは3つまで書いて、その一番上には防災用の備蓄した生理用品を配布してほしいというのは書いていたんですけれども、ちょっと問合せしたところ、生理用品の備蓄はあるんです。あるんですけれども、結構古くて、一宮でも、この2枚目のところに一宮のを書いているんで

すけれども、これも平成17年度なんですけど、さらにちょっと古いということで、でも数的には段ボール1箱ぐらいでかいのがあるということなんです。

だから、よければと言ったら変ですけども、行政のほうがいいと判断すれば出すことはできると思うんですけども、何かその辺がちょっとクエスチョンなんですけれども。私もいいとは思うんですけども、いろいろ衛生上よくないとか言われる人も、あまり古過ぎてとか言う人もおられるんですけども。

◎委員（梶谷規子君） 私も一般質問でちょうど取り組もうと思っていた矢先のことだったんですが、私は学校のことの教育の中で小・中学校の個室のトイレに、配布じゃなくて、もう設置して置いてくださいという形で、もらうというよりもトイレにちゃんと備蓄していれば、必要なときにちゃんと使えるようにということを一般質問でもやろうと思っていたんですが、ここでやるんなら一般質問は取り下げようかなとか思っているところです。

それで、岩倉市の先ほどの、この前も谷平委員と話していて、古いというのは消費期限とか一定あるんですかね。

◎委員（谷平敬子君） 何か5年ぐらいみたいなことを言っていましたけれども。

〔「書いてあるの」と呼ぶ者あり〕

◎委員（谷平敬子君） 記載してはないです。協働安全課の方が言われていたもんだからあれなんですけど、自分が調べているわけではないんですけども。

◎副委員長（須藤智子君） ほかの一宮市とか東京都とか見てみますと、やっぱり防災備蓄用って書いてあるから、やっぱり防災備蓄用というのは入れたほうがいいんじゃないかなと私は思いますけどね。以上。

◎委員（梶谷規子君） 今、もちろん防災備蓄用品には入れるという、それで古ければ本当に、水なんかはしょっちゅう食糧の問題では賞味期限、消費期限が厳しいから、しょっちゅう入れ替えようとしていると思うんですが、生理用品については、備蓄はされているけど入替えがずうっとされていなかったということだと思うんですが、この要望は、防災備蓄用品からまずは公共施設や、私は全ての公共施設の個室のトイレに常設するほうの検討をしてほしいというところを思っているんですが、学校のトイレをはじめ。だから、まずは予算化する前にすぐ対応するという事で防災備蓄用品の生理用品を置く。その後はきちんと予算化してほしいという段階だと思うんですが、そこら辺どうなんですか。

◎委員（谷平敬子君） やはり今言ったように、あるやつを無料で配布、困

っている方に配布するということで、当局も、やっぱりテレビ等でいろいろちょうど見ていたみたいで、ちょっと調べたら出てきていたところに私が行ったみたいなことで、何にしても新しいものを購入する予定ということで、じゃあ今あるやつは要らないですねと言ったら変だけど、廃棄するのはもったいないんじゃないですかという話をしたんですけれども、そこはそこの1人の人と話をしているのであれなんですけれども、いや、そういうのはどうだろうね、そういうのを渡すのはどうだろうねなんて言われたんですけど、私は使わないものを、もったいない精神じゃないですけどあれするのはいいんじゃないですかと言ったんですけれども、そこはちょっと行政の人に考えてもらわなくちゃいけないところかなというので、何にしても購入、新しいものももちろん購入すると言っていましたけれども、それは、今言ったように防災備蓄用のというのをここに書いて出しても考えてくださると思うんですけれども。

◎委員長（井上真砂美君）　ありがとうございます。

　ちょっと具体的なことに入っておりますけど、趣旨のほうは皆さん御賛同でよろしいのでしょうか。

◎委員（堀　　巖君）　この緊急要望の文面だと、1番タイトルのところに「コロナ禍における」というふうに書いてありますが、やはり新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮している、そういった政府の、拡大の影響で孤独や困窮状態が広がっているというところを、やっぱり文面の中でもきちんと押さえたほうがいいんじゃないかなというふうに思います。

◎委員長（井上真砂美君）　谷平委員、よろしいですか。政府が出している困窮ということを、もっと前面的に趣旨のほうに最初に書いてほしいということですね。一文から最初から女性の月経に関する生理の貧困が問題になっていますというふうに、みんな分かっているような内容で書いてあるけれども、その困窮者がいるというような内容をちょっと付け加えてくださいということではよろしいですか。

◎委員（堀　　巖君）　はい。

◎委員（谷平敬子君）　はい。

◎委員長（井上真砂美君）　それで、趣旨に賛成、賛同でよろしいですか。

〔「はい、いいです」と呼ぶ者あり〕

◎委員（大野慎治君）　大変申し訳ないですけど、生理の貧困じゃなくて女性の貧困だと思うんですよ、それをまず入れないと。生理の貧困となっちゃっているんですけど、そこは女性の貧困だと思うんですよ、ひとり親の方とか。書いてもいいんですけど、趣旨は多分、女性の貧困というところが趣

旨でこれだと思うので。生活の貧困なのか女性の貧困なのかというのは、ちょっと題は変えなきゃいけないところなんですけど、生理の貧困ではないです。

◎委員（堀 巖君） 3枚目の神奈川新聞ですか、そこの政府のところに、それをひっくるめて「金銭的な理由で生理用品を買えない「生理の貧困」」という、そういう単語を使っているので、これが世論的に常識になっているのであれば、その「生理の貧困」という言葉を使ってもいいんじゃないかなというふうに思います。

◎委員長（井上真砂美君） ごめんなさい、堀委員、それは3枚目の……。

◎委員（堀 巖君） ごめん、4枚目の囲みの新聞のところですよ。神奈川。

◎委員長（井上真砂美君） はい。に書いてある、突然に「生理の貧困」という言葉じゃなくて……。

◎委員（大野慎治君） 「金銭的な理由で生理用品を買えない「生理の貧困」」というふうに、それを頭に入れると唐突じゃなくていいと思います。

◎委員長（井上真砂美君） 唐突じゃなくて分かりやすいということで、文言に関しての話がありました。

◎委員（谷平敬子君） その前に「新型コロナウイルスの影響で」というのも入れて。

◎委員長（井上真砂美君） 「新型コロナウイルスの影響で」。

◎委員（谷平敬子君） 「金銭的な理由で」。

◎委員長（井上真砂美君） 「新型コロナウイルス感染拡大の影響で」というと、ちょっとこの辺、また考えてください。

◎副委員長（須藤智子君） さっき堀委員が言ったのは題名を変えるということでしょう。

◎委員（堀 巖君） 違います。

◎副委員長（須藤智子君） 違うの。

◎委員長（井上真砂美君） 題名は大野委員。

◎委員（大野慎治君） 私は、1行目のところの「生理の貧困」という前に「金銭的な理由」とか「コロナ禍の影響により金銭的な理由により」という生理の貧困というのを入れるのか、ちょっとだけ入れたほうが分かりやすい。突然生理の貧困からスタートするのはちょっと分かりづらいと思います。

◎委員長（井上真砂美君） ありがとうございます。文言の整理はまた。

◎委員（大野慎治君） すみません、委員長、僕は出すのは賛成なんで、文言のちょっと整理だけ必要だという意見だけです。すみません。

◎委員長（井上真砂美君） では、ちょっと上のほうの文章は、もう一度再

考というか、少し付け足していただいたり考えていただくことにしまして、具体的な内容ですよね。具体的な内容で1、2、3と書いてあるんだけど、そこに防災備蓄の製品、生理用品を使うというようなことを入れてもいいですかということですか、先ほどから出ていたのは。

◎副委員長（須藤智子君） 1番にね。

◎委員（堀 巖君） 防災用の備蓄用品を使うか使わないか、補正でそろえるかどうかというのは執行機関側の判断だと思います。重要なのは、梶谷委員が言ったように、まず1、2、3の順番として、その無償配布をするのか、小・中学校、高校まで含めて設置をして使いやすい状況にするのかというところだというふうに思います。

◎委員長（井上真砂美君） なるほど。

御意見いかがですか、その件について。無償配布というのでいくのか、1番は市役所や保健センターで必要な方に配布してください、無償配布。3番目に関しては、小・中学校の個室トイレや保健室で生理用品を配布すること。梶谷委員は、個室トイレに置いておいてもいいのじゃないかというような意見もありました。

◎副委員長（須藤智子君） 設置すると持っていかれる人もいると思います。トイレットペーパーなんかはそのいい例だと思いますよ。だから、そこをちょっと気をつけないといけないと思う。小・中学校のトイレはいいけど、公共施設なんかは、持ち帰りされる方がいるんじゃないかなと思いますけどね。

◎委員（梶谷規子君） だから、必要じゃない人は持ち帰らないと思うんですよ。もう経済的に大変だから持ち帰る。それで今、生理用品だったら、もう必要だから使うということで、今も3番の保健室はちゃんと常備されているはずですよ。だから、そこで配布ではなくて、わざわざ下さいとか言わなくてもトイレにきちんと設置してもらおう。ここで合意できなかったら私は一般質問でやる予定だったので、ここでしなくてもいいけど。

◎副委員長（須藤智子君） 小・中学校のトイレはいいんですよ。公共施設と言われたでしょう。公共施設も置いてくれと言われたでしょう。だから、欲しい方に無料で配布というのは趣旨だわね。趣旨でしょう、その。

◎委員長（井上真砂美君） ちょっとまとめますと、小・中学校の個室トイレには、設置というのは賛成でよろしいですか。今までも保健室に置いてあったけど、なかなか保健室のところへ行ったら先生に下さいというのが言えないんですよ。だから、じゃあ小・中学校は、小・中学校もちょっと低学年じゃなくて、それは学校に決めていただかなきゃいけないと思うけれども置いておくと。

じゃあ小・中学校は個室トイレに、個室トイレの中ですよ、手洗い場じゃなくて個室トイレに置いていただく、設置していただくということでは、皆さんの御意見はまとまったでよろしいですか。

◎委員（水野忠三君） 検討してくださいなので、それでいいと思います。

◎委員長（井上真砂美君） ありがとうございます。

◎委員（谷平敬子君） 委員長、すみません、これは何というのかな、デリケートな部分なもんですから、ないからちょうだいというか、何かそういった感じにできないで困っている方に自然に、今言ったようにトイレに常備、個室のトイレに置いておけば、持って帰りたければ、なければ、家に帰ってもない、買ってももらえないなら持って帰る。一々こうなんだって声に出せない部分を応援していくとか支援していくという考えなんですけれども。

◎委員長（井上真砂美君） それは1番のほうですね、公共施設のほうに配布してくださいと書いてありますけれども、提案者、谷平委員のほうでは置いておく。必要な方へ配布してくださいという言葉じゃなくて、置いておいてもよいんじゃないかというような気持ちでよろしいですか。

◎委員（谷平敬子君） はい。

◎委員長（井上真砂美君） それで持ち帰る人もいるかもしれないというけれども、必要な方が持ち帰ると。

◎副委員長（須藤智子君） 小・中学校のトイレだね。

◎委員長（井上真砂美君） 公共施設。

◎委員（大野慎治君） すみません、公共施設はそこまでやっちゃうと、もう何から何まで全部になっちゃうので、それはさっき谷平さんが提案したとおり、市や保健センター、社協さんを含めて取りに来てくださいという、皆さん防災備蓄用品だったら数が限りがあるので、無限大に予算を組んでいないものをあれこれ全部購入して配布するわけじゃないというお考えだと基本的には思いますので、そこまでしてしまうと、ちょっと、もともと配布しなくてもいいじゃないかという話になっちゃいますので。

◎委員（水野忠三君） ちょっと今、大野委員がおっしゃられたことに関連するんですけれども、もちろん必要なことだと思っているんですけれども、民間で、例えばコンビニとかスーパーマーケット、薬局、ドラッグストアで販売していますので、民間で販売、要するに商売として販売されている方を、お金を出さなくていつでももらえるということになると、その商品として扱っている方々が、要するに商品が売れなくなると思いますか、そういうことも考えなければいけないので、そのバランスをどう取るか。全く無制約だと、ドラッグストアで1個も売れないとか、そういう話になってきかねないと思

いますので、そこら辺のバランスというのもちょっと配慮をお願いしたいと思います。

◎委員長（井上真砂美君）　ありがとうございます。

◎委員（梶谷規子君）　別に市役所が備蓄用品がなくなれば予算化して買うわけだから、そんな家庭で使う分とか、いろんなところでは皆さん買いますよ。だから緊急なときに、そんな一々声を出して言えなくて、緊急のときに使いたいという人たちが使うということだから、公共施設に置くという、設置するというのは、今、大野委員はそれ以上拡大してもと言われたけれども、先ほど谷平委員が言ったように、やっぱりデリケートな部分で、声に出してまで言えない、だけど、本当に今必要だという人が、やはりトイレにあれば本当に安心というかね。そういう意味で設置してもらったらいんじゃないかなと思いますが、どうでしょうか。

◎委員（大野慎治君）　生理の貧困とちょっとテーマが変わっていると思うんですよね、今の発言というのは。それは緊急用に要るんだと言うけど、それは今言った金銭的な理由での生理の貧困とは徐々に外れていく議論だと思います。

◎委員長（井上真砂美君）　生理の貧困というものの定義というのは、さっき線引きましたね。金銭的な理由で生理用品を買えない、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で孤独や困窮状態にある女性を支援するためできないと。

◎委員（堀　　巖君）　やはり今、緊急事態だからこそやる、取り組むという話なんですよ。だとすれば、困窮していない人がむやみやたらに持っていくという危険性を阻止するために、何かこう趣旨がずれてしまっただけではないというふうに思うわけで、やはり今だから、なかなか私、生活困窮者だから欲しいわってなかなか言えない状況の中で、困っている人がそこに行ったら生理用品があって助かるということをつくり出すためだというふうに谷平委員は言われていたと思うんです。そこら辺をもう少し、男性にはなかなかそういうところがデリケートな部分は分からないとは思いますが、僕は設置でいいというふうに考えています。

◎委員長（井上真砂美君）　その辺の意見、いかがですか、設置。

◎副委員長（須藤智子君）　この文章の3番を、3番は小・中学校ね、市内の個室トイレや保健室に置くを書いてあるでしょう。これを配布と書いてあるけど、それを設置するということね。それは私はいいいと思いますね、小・中学校はね。ただ公共施設まで広げるのはどうかなということを言っているんです。梶谷さんが言っていたでしょう、公共施設。小・中学校のトイレはいいですよ、設置するのは。この文章のままでね。だから、そのところを

ちゃんとしてもらわないと、公共施設までと言われるとちょっとね。

◎委員長（井上真砂美君）　ありがとうございます。

3番目の小・中学校個室トイレの設置というのは皆さん賛同していただけたと思うんですが、公共施設、市役所や保健センター等で、「等」でと書いてあるけれど、公共施設も全てのところじゃなくて設置してもいいのかどうかですよ。生涯学習センターとかプラザとかいろいろありますけれど、公共施設がどこまでになるかですけれど。

◎委員（大野慎治君）　提案者は、「等」は社協さんでもお配りしているので、そこは当局に判断してくださいよということだと思いますよ。それはそのことと今の提案とはちょっと違うと思います。それは、当局判断でどこでお配りするかはちょっと決めてくださいということで「等」を入れてあるんだと思います。

◎委員長（井上真砂美君）　公共施設に配布、それも期間的なものもありますよね、きっと。

◎副委員長（須藤智子君）　あるか。

◎委員長（井上真砂美君）　ここには書いていないですけど、これから永遠にということじゃなくて、コロナ禍においてという形で。

◎委員（谷平敬子君）　さっきも言ったように、このコロナで困窮している人が、結構その自立支援のところもいっぱい相談に来られたりとか、食料品はもらうけれども、そこには日用品というのが入っていないくて、そういうものが置いてあれば、女性の方に、こういうのも足りているとか大丈夫という感じで、いや、ないですというところとあげられるという、ちょっと差し上げられるという、私はそういう感覚でいるんですけども。これからずっととかじゃなくて、今このときというのと、あと、防災用に備蓄のものが、さっきも言ったように置いてあって、捨てるというと変だけど、捨てるならもったいないなというような感覚もあり、また、これから先も本当は定期的に、もちろんトイレトイレットペーパーとかおむつとかもあると思うんですけども、それも備蓄用で使わずに置いてあるということなので、さっきの期限があるかというところなんですけれども、ちょっと私もそこは調べていないんですけども、やっぱり常にというか、何年かに1回は食べ物と一緒に替えてほしいなというのはあるんですけども。

今回のこの要望書は、コロナで困窮している人に、市でもこういう女性の推進の交付金が出ているわけなので、古いのばかりじゃなくてまた購入して、いろんなところで声を出せない部分、使ってもらったらどうかなということなんですけれども。

◎委員（水野忠三君） 今のお話で、食料品、フードバンクとか、そういうところでローリングストックというんですかね、新しいのを購入して、古いというか、ちょっと期間がたっているものを使うという、そういうのをこういう食料品以外のものでこういうものにも取り入れて、もうローリングストックみたいなことをして、使う先をこういう問題になっているところに出していくという形でやっていけばいいかなと。全く新しいものを使うということになると、さっきの民間の商売というか、販売しているほうとの競合を考えなきゃいけないと思うんですけど、例えば二、三年たっているとか、そういう期間がたっているものであれば、新しいものが欲しければいろんなドラッグストアとかコンビニとかで買っていただくと。多少ちょっと期間がたっているものでもということだったら、ちょっと差異化ができると思いますので、民間と競合しなくなるのかなあというふうに思っています。

ローリングストックみたいな仕組みを制度化するのはいいことではないかというふうに思います。

◎委員（大野慎治君） ちょっと調べさせていただきましたが、生理用品は原則３年間で品質を保たれるように設計されていて、３年過ぎても大丈夫だそうです。基本的には保管状態が悪いと吸収性能やずれ止め部分の粘着性の低下など品質が低下する恐れがあると。３年間だそうです。今調べさせていただきました。

◎委員長（井上真砂美君） ありがとうございます。調べていただいて。

公明新聞の６面というんですか、５月１８日付の６面、３枚目なんです。その右側の下から２段目のところに、「政府は」というところから、政府は地域女性活躍推進交付金に予備費から１３億５,０００万円を追加措置にすることを決定したと出ていますね、これは５月１８日付ですので、国から地域女性活躍推進交付金が１３億５,０００万円、国にだから、岩倉にどれだけ回ってくるかちょっとまだ分かりませんが、それだけのお金が女性用というふうに回ってくるようなので、そこを使わせてもらってもいいですね、予算的にはね。

備蓄品ももちろん３年程度置きにローリングストックというの、ローリング、替えていくようにお願いして、これとは別ですけどね、これとは別ですけども、３年ごとぐらいに食料品と同じように生理用品も替えていくと。こちらのほうも予算化として国からの地域女性活躍推進交付金が下りるので、生理用品といっても、お金の見積りをするとそんなに高くなくて、１００万円もかからないなと思うんですけど、量によるんですけど、出していただけることを願うといいなと思います。

ちょっとその辺だと公共施設に置くか、やっぱり配布がいいのか。

◎委員（堀 巖君） 皆さんの合意が取れなければ生活困窮者に配布ということになると思うんですけども、明石市さんの記事では、既に市も市内の公共施設にも設置する検討をしていると。公共トイレに持ち帰り用としてというふうに書いてあります。それは決めるのは執行機関だと思うし、議会として要望するところのラインとして、皆さんの合意が取れるか取れないかというところで設置か配布かというところで決めていただければいいんじゃないでしょうか。

◎委員長（井上真砂美君） ありがとうございます。

じゃあどうでしょう、大分話はまとまってきたと思うんですけど、あと一つだけ、貧困解消のための生理用品を公共施設で必要な方へ配布するという表現がよいのか、公共施設、これはいろいろ調べて当局側に選んでもらわなきゃいけないと思うんですが、施設に設置すると。ここは文言ですね。あとは、どのように具体的に考えていくか。

◎委員（水野忠三君） 当局にちょっと丸投げするようであれなんですけど、「設置、配布等必要な手段を検討してください」という、「設置、配布等必要な手段を実施してください」とか、そういう形でちょっと幅を持たせるのも一つの手かなと思います。

◎委員長（井上真砂美君） ありがとうございます。

みんなの一応、中間的な話でまとめて水野委員にまとめていただいたんだけれども。

〔「賛成です」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（井上真砂美君） 賛成ですか、いいですか、そういうふうに。

◎委員（榎谷規子君） だから、市役所や保健センター等という「等」で含ませるということで、公共施設全てじゃなく当局に考えてもらうということで、そのままなんですよね。

◎委員長（井上真砂美君） はい。

◎委員（榎谷規子君） 必要な方に配布してくださいじゃなくて、最初に設置がいいですけど……。 「等で設置または必要な方へ配布」、必要な方へというか生活困窮の方たちに配布してくださいという、「必要な方」でいいか。

◎委員長（井上真砂美君） よろしいですか、そういうふうで。

◎委員（大野慎治君） あとは、もう正・副委員長でまとめて、提案者の谷平さんも含めてまとめていただいて、決まったやつを配付していただければ、もう異論はございません。

◎委員長（井上真砂美君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（井上真砂美君）　じゃあ、正・副委員長並びに提案者と相談してまとめて、また皆様方の御同意を取れるように諮りたいと思います。

よろしいですか、この件に対しては。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎委員（大野慎治君）　すみません、まとめたやつで提案することで御異議ございませんかと言って、賛成と言っておかないと出せないでしょう。

◎委員長（井上真砂美君）　じゃあ、まとめることで御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（井上真砂美君）　異議なしという声をいただきましたので、まとめさせていただきます。

またできたものを皆様方にちょっと配付させていただきますが、よろしく願いいたします。

では、(1)のほうはちょっと終了しまして、協議事項、(2)その他、ありましたら。

◎副委員長（須藤智子君）　榊谷委員が言っていた小・中学校の消毒はどうするのか。

◎委員（榊谷規子君）　私が須藤委員が委員長の際にお願いしたのが、6月議会にコロナ関係の予算化がされるということで、去年、6月議会前に特別委員会を開いて、6月議会に小・中学校のトイレ等清掃が外部委託される予算がついたんですね。それで、7、8、9月分がついて、また9月議会で10、11、12月がつき、12月議会の補正で、また1月から3月がついたという経過があって、新年度予算になかったのが、やはりまだコロナの緊急事態が続いている中で、教師の先生たちや子どもたちの、やはり先生たちの負担軽減、子どもたちの安心・安全のためにトイレ清掃の外部委託を、江南でも継続しているんですよ。だから、6月議会の予算化に向けて、早めにこの特別委員会でそのことを要望したいと思って提案していたんですが、もう6月議会の予算化も終わり、ちょっと遅かったので一般質問に入れていこうと思っているんですが。一般質問に入れるということにしました。ちょっと6月議会には入っていないので。

それで、聞くと、やっぱり江南でも継続してもらっているし、学校の先生たちの声を聞くと、やはり継続していただきたいという声のほうが非常に助かっていたということで、まだコロナがこんなふうに広がってきていて、岩倉では小・中学生に出ていないけれど、他市、近隣市町で本当にそういう不安な状況があるので継続してほしいという声を聞いていますので、それでこ

こでそういうふうだったので一般質問に入れることにしました。すみません。

◎委員長（井上真砂美君）　ごめんなさい、そうしたらどうでしょう、こ
こで……。

〔「議論は必要ない」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（井上真砂美君）　議論しなくてもよろしいですか。

◎委員（大野慎治君）　委員長、もう一般質問されると明言されていますの
で、ここで議論するのはやめましょう。

◎委員長（井上真砂美君）　じゃあ、ここではそれぞれの意見もあると思い
ますけれども、議論はなしにして、その他で梶谷委員のほうからそういうの
を要望していくということを言われましたので、一般質問で行うということ
で収めておきます。

その他、(2)番、よろしいですか。

◎委員（堀　　巖君）　コロナの特別委員会なので、個別のそういう事業で
あるとか要望というのではなくて、皆さんにちょっと認識をお伺いしたいん
です。というのは、今第3波ですよね。

〔「第4波」と呼ぶ者あり〕

◎委員（堀　　巖君）　第4波か。それで、今後も変異ウイルスとか第5波、
第6波で、一番最初の第1波から過去を振り返ると今のほうが深刻な現状、
さっきの生理の貧困とかという話でもそうだし、子どもたちや見えないところ
の雇用切りであるとか、一層深刻になっているように、私はいろんな記事
とか新聞、テレビ、マスコミ関係を含めて感じているところなんです。

そうやって考えると、理屈から言うと、一番最初に議員報酬削減を提案し
て1割削減しましたけれども、それで12月で切りました。だけど、やっぱり
深刻な状況が進んでる中で、本当にもう一回、市のしてきたコロナ対策につ
いて、それで足りているのかどうなのかという、そういう総括的な検証を、
このコロナ特別委員会ですべきではないかなというふうに考えているんです
けれども、皆さんどのお考えなんでしょうか。

◎委員長（井上真砂美君）　いかがでしょうか。

◎委員（大野慎治君）　以前も僕、言いましたけど、大学生の貧困、今はア
ルバイトできないんです、一切、飲食店止まっちゃっていて。本当に家から
仕送りが少ない学生の子たちは大学を辞めなきゃいけないと。本当に辞めて
いるんですよ、岩倉の子たちも。岩倉の子たちだけじゃなくて全国的ですよ。
そういったところのケアがちょっとできていない。本当に今、バイトが何も
できない。飲食店が一番多いんです、バイトするところが。そういったところ
の大学生の貧困への対策というのが、ちょっとやっぱり政府も1回だけ支

給しましたが、ほとんどあれは受け取れないという、ちょっと難しい制度だったんで駄目だったですけど、やっぱりそういったところへもうちょっと向けたほうがいいのかなあと。政府もそこに対しては何も手を打っていません、大学生の貧困というところに対しては。その辺のところはちょっと駄目なのかなと思います。

◎委員長（井上真砂美君） 今第4波で、まだこれもちっと見通しが立たない。ワクチン接種が完了するのが、どうなんでしょう、8月、10月。

◎委員（大野慎治君） 65歳以上が7月いっぱい、私たちまでは年内と言われておりますが。

◎委員長（井上真砂美君） 年内。

◎委員（大野慎治君） よく分かりません、そこからは。65歳までしか政府は。

◎委員長（井上真砂美君） 出していませんね、岩倉市も65歳以上ですね。年内、ちょっと分からないところで総括していく、その貧困状態をどうやってやっていきましょう。

◎委員（堀 巖君） なかなか全体的な貧困を議会の中で調査してというのは難しいと思います。今、大野委員が言われたように、過去、学生の貧困についていろいろ議論した中で取り組めなかったということは事実ですし、僕もそこはやっぱり足りていないなというふうに思っています。やっぱり皆さんの認識の中で、第1波から比べて今の現状が厳しいというふうにお考えであれば、やはりいろんな市民の声の困っている、今まさに女性の困っている声を聞いて上げるわけですけども、ほかのところでも多分あると思うので、そういったことを、やっぱりコロナのこの特別委員会で議論して実現に向けて進めていく。ワクチンで終息するかどうかこの先分かりませんが、今困っている人たちに手を差し伸べるために話し合うべきだというふうに思います。

◎委員長（井上真砂美君） 何ができるかということを話し合う。現状をちょっと今後皆さん捉えて来ていただくことが必要になると思いますけれど。またもう一回……。

◎委員（大野慎治君） 今後、各委員から提案があれば検討課題に上げて、必要があれば6月定例会の中で一度委員会を開いていただいて言っていればいいと思いますので、また正・副委員長の下に御意見を上げていただいて、そうやって検討すればよいと思います。

◎委員長（井上真砂美君） じゃあ、いろいろ確かに深刻な状態になっているんだけど、ちょっと自粛慣れというのはそういう状況ですね、去年に

比べると。

また意見がありましたら、意見あると思いますが、その意見についてまとめて、ちょっと私、あるいは副委員長のほうに提出のほうをよろしく願います。

では、以上で1、2、3. その他まで終わりましたが、また次回開催のときには、また本会議中でしたら皆様方に予定をお聞きしますので、またよろしくお願いします。

では、以上をもちまして新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会を終了させていただきます。お疲れさまでした。ありがとうございました。